

令和 5 年度 学校評価シート

学校名：和歌山県立日高高等学校 全日制 校長名： 山本 直樹

| 目指す学校像 | | 学校評価の公表方法 | | 現状・進捗度 | | |
|--|---|--|-----------------------------------|--------------------------------------|-------------------|----------------|
| <p>・広く社会に関心を持ち、探究活動、特別活動、部活動などに主体的・積極的に取り組むとともに、自他の生命や人権を大切に、豊かな人間関係を築き、社会の一員としてのモラルやマナーを備え、社会においてリーダー的役割を果たす人材の育成を目指す学校。</p> <p>育てたい生徒像</p> <p>・身に付けた知識や教養を活用して、個々の進路実現を目指し粘り強く取り組むとともに、特別活動を通して身に付けた協調性や社会性を活用して、目の前の困難を乗り越えていく力を備えた生徒。</p> | | <p>学校評価シート、学校運営協議会での議事録、SGHネットワークの活動報告等についてホームページを活用し公表する。</p> | | A | 十分に達成している。(80%以上) | |
| | | | | B | 概ね達成している。(60%以上) | |
| | | | | C | あまり十分でない。(40%以上) | |
| | | | | D | 不十分である。(40%未満) | |
| 自己評価（分析、計画、取組、評価） | | | | | | 学校関係者評価（月 日実施） |
| 番号 | 計画・取組 | | | 評価（月 日現在） | | |
| | 重点目標 | 現状 | 具体的取組 | 評価項目と評価指標 | 進捗度 | 進捗状況 |
| 1 | 主体的に学ぶ態度や探究心を養うとともに確かな学力の向上を図るため、授業だけでなく、図書館やICTを活用することにより、学習環境の充実を図る。 | B | 動画配信による自宅学習の充実 到達度テスト年2回実施 | (項) 学習における躓きの改善状況 (指) 授業動画視聴状況 | | |
| | | | ICTを活用した授業 | (項) 授業でのICT活用状況 (指) 必要な場面で100%実施 | | |
| | | | 図書館の利活用 | (項) 図書館の活用状況 (指) 図書貸出率、授業活用時間 | | |
| 2 | 将来の進路実現のため、生徒や保護者の希望や実態を適切に把握し、個に応じたきめ細やかな進路指導を行う。 | B | 進学補習の充実及び学校全体での組織的な進路支援 | (項) 希望大学への進学状況 (指) 希望大学への進学率 | | |
| | | | 系統的な進路LHRを計画 | (項) 進路LHRの実施状況 (指) 各学年5回以上 | | |
| | | | 就職、公務員受験指導の充実 | (項) 就職、公務員合格状況 (指) 合格率100% | | |
| 3 | 自他の生命と人権を尊重し、豊かな人間関係を育む社会の一員としてのモラルやマナーを高める。 | B | 学年アセンブリー いじめアンケートの実施 | (項) アセンブリー・アンケート実施状況 (指) 学期に1回実施 | | |
| | | | 情報モラル講座の実施 | (項) 情報モラル講座の実施状況 (指) 年1回以上実施 | | |
| | | | 人権LHRを計画 | (項) 人権LHR実施状況 (指) 年1回実施 | | |
| 4 | 郷土愛を育むとともに、国際的な視野を広め、より良い社会づくりに参画する態度を育成するため、地域と連携した防災教育やフィールドワーク、ICTを活用した探究活動の充実を図る。 | B | 総合的な探究の時間の充実を図るためフィールドワーク、発表会の実施 | (項) フィールドワーク、発表会実施状況 (指) 年1回以上実施 | | |
| | | | SGH ネットワーク通信を発行し活動を校内外に発信 | (項) SGH ネットワーク通信発行状況 (指) 活動毎に発行 | | |
| | | | 国際交流の充実とアジアオセアニア高校生フォーラムなどへの大会に参加 | (項) 交流及び各大会への参加状況 (指) 参加生徒による自己評価 | | |